

日程 平成 29 年 6 月 3～4 日 (大菩薩周辺) 春季登山研修

6/3～6/4 甲斐大和＝甲斐大和自然学校（宿泊）－実地研修地－甲斐大和自然学校＝甲斐大和

撮影者 田口



001 甲斐大和自然学校

甲斐大和駅に集合。上日川峠に向かうバスを待つ登山客が長蛇の列をなす駅を後に、送迎バスにて 10 分ほどで大和自然学校へ。学校は、ほうとうづくりに来ているらしい外国人観光客で朝から賑わっていた。

002 研修メンバー集合！

ザックを講堂におき、研修前に集合写真を撮影。日川沿いの山の麓に所在する学校の周辺には、白い房の花が印象的なニセアカシアが群生。気持ちよく晴れた日のもとで、いよいよ研修開始だ。



003 室内研修シーン（1）

午前中は、チェストハーネス、エイトノット、ムンターフィッチ、クローブヒッチ、ブルージック、クライムハイトといったロープワーク研修。撮影者もロープワーク訓練に没頭、撮影シーンがなくてすみません！

004 室内研修シーン（2）

午後からは、ツェルト利用の紹介のあと、本来 3 日かかる救急法研修を 3 時間ほどで笑いに包まれつつ、濃密研修。三角巾を使った研修では、基本の折り方、頭、膝、足首、腕などの負傷時の対応を学習する。



005 室内研修シーン（3）

一時救命措置の研修では、赤十字社提供の人形を使って胸骨圧迫、人工呼吸、AED の使い方を習う。登山だけでなく防災や家庭、職場でも、いざという時に役立つ。網、ツェルト、ザックなどを使った搬送法も習う。資材の限られた山行ならではの工夫に関心、関心。

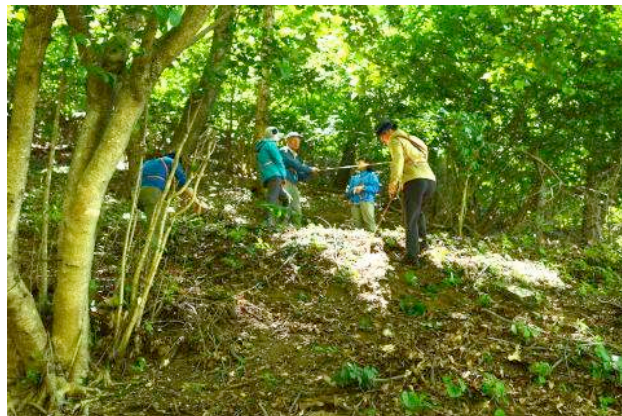


006 学校裏山でロープワーク

高原のような爽やかな翌朝。自然学校のすぐ裏手にある山麓にてロープワークの実地訓練スタート。トラバースする際に使うロープの固定、ロープの利用法、セルフビレーの仕方など、昨日の座学を実地でまず、講習。

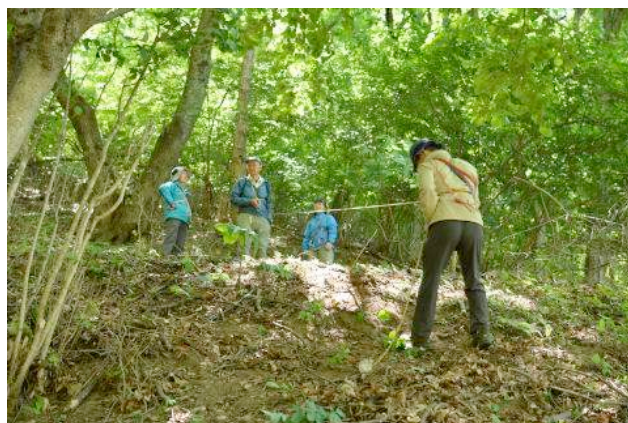
007 身体で覚えるのはムズカシイ

その後、各班に分かれ、比較的な平らな場所で訓練をスタート。昨日習ったチェストハーネスから始まり、エイトノット、ムンター、クローブ、ブルージック、クライムハイストなどを実際に使えるようになるまでトライ、トライ！



008 傾斜地でのロープワーク

次に、砂地のような崩れやすい急傾斜地でのロープワーク。各班がそれぞれ、傾斜地上部の樹木にロープを固定し、上昇、下降のロープワークを、メンバーが交互に役割を交代しながらトレーニング。



009 手順も目配りも

人命がかかるロープワークだからこそ、万全の準備と目配りがものを言う。だが、わかっていたつもりが、いざ、やってみると頭が真っ白。何のために、何から手を着け、どう進めるのか。傾斜地での目線、足運び、手の使い方等々、学びのポイントは本当にたくさんある。



010 技と面白さの一端を学び、味わう

ロープ固定、セルフビレーをとって確保、懸垂下降、ロープ回収といった一連のロープワークにトライする、ムンターヒッチ、クローブヒッチなどの結び方を練習するなど、メンバーそれぞれが研修終了時まで、訓練に励む。良い天候、良い環境のもとで、実地訓練ならではの醍醐味が味わえた。